

～「子どもだけど大人」「大人だけど子ども」な人たちへのメッセージ～

LITTLE BIG

第41号 2009.7.9

発行:福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp

<http://www.library.fks.ed.jp>

【Pieces -かけらたち-】本の中の言葉

ほかの惑星と比べると、地球はあまりにも小さかった。でも、すばらしく美しかった。あそこがジョージの惑星、ジョージのふるさとなのだ。ジョージは、今すぐあの美しい惑星に戻りたいと強く思った。

『宇宙への秘密の鍵』(ルーシー＆スティーヴン・ホーキング/作 岩崎書店 2008.2 131頁より) 933/ホル

「ズルだなんて、思っていないよ。お前は分子生物学のことなんか全然分かっていないだろ。ズルってのは、物事がわかっている人にしかできないんだからな」

お前は張子の虎だと図星を衝かれたような気がして、僕は思わず赤面する。

『医学のたまご』(海堂尊/作 理論社 2008.1 116頁より) 913/カタ

「そうは思わないかい？たいせつなのは、知識の量じゃない。知識と知識を結び、新たなことを創造する力だよ」

「うなんだろうね。でも、ぼくも、すこしでいいから創也なみの知識量がほしいぞ。」

『都会のトム&ソーヤ1』(はやみねかおる/著 講談社 2003.10 209頁より) 913/ハカ/1

「恋は一時の燃えるような衝動であって、愛は暖かな温もりみたいな一つの状態であろう。ひとめぼれという言葉があるが、それこそ、じつは、恋の正しい形なのではなかろうか。人を好きになるのに理屈などないのだと思う、ほんとうのところは」

『一億百万光年先に住むウサギ』(那須田淳/作 理論社 2006.9 18~19頁より) 913/ナジ

職【a job】

新年度を迎えてからもう3ヶ月。受験を控えているみなさんはそろそろ進路について考える時期ではないでしょうか。

「学校での勉強なんて役に立たない！」と思いがちですが、本当のところどうなんでしょう？

そこで今回は勉強、そしてその先にある仕事について考えさせられる本をご紹介します。

『手に職。』

(森まゆみ/著 筑摩書房 2008.9)

著者の森さんが、鮨職人や刺繡職人などに行ったインタビューをまとめた本です。職さんの仕事や土地、さらには人生に対する愛情がとても良く描き出されています。「仕事に誇りを持つ」ってなかなか難しいこと。人生にはいろいろ「岐路」というものがありますが、これから先、この本に出てくる方たちのように、誇りを持てる選択をしていきたいですね。

『独学という道もある』

(柳川範之/著 筑摩書房 2009.2)

こちらは高校へ行かず、大学も通信課程で学び、でも経済学者になれちゃった方の話。

そこだけ聞くと「ええっ？」と思うかもしれません、「普通」な進路を選ばなくとも、「学びたい」という意欲があればどんな方法でだって学べるんだなあと考えさせられます。

ただし、「学歴社会」の日本でそれをやるには相当の努力と能力が必要……かもしれません。

ナメから本を読む

このコーナーでは、テーマに合わせて本のちょっと変わった読み方をご紹介します。

テーマその① 著者の実像に迫る

みなさんが普段手にしている本。それを書いた人がどんな人か、想像したことってありますか？

「本を書く」ってなんだかすごいことに思えて、その人が雲の上の人のように感じたことはありませんか？

でも、実際はどうなんだろう？

そこで、本の一番後ろやカバーの折り返しに書いてある「著者紹介」を読んでみてください。

ここにはその本を書いた人の、生まれてから今までの人生が実に短く書いてあります。大学、さらにその上の大学院まで行って博士になった人。留学して学んだ人。会社に就職して、それから専門の道に進んだ人…。中には、会社で働きながら小説を書き続けてやっとデビューできた人や、趣味が高じて本を書いている人もいます。

「著者紹介」に目を通してみると、本を書いてる人だって普通の人なんだぁと思えます。生まれた時から天才だったわけでもないし、すっごく幸運に恵まれているわけでもない。

ただ一つ言えることは、みんな自分の興味を持ったことにとても真剣に、真摯(しんし)に取り組んでいるということ。「著者紹介」を見ると、それが伝わってきます。

たった数行にそれぞれの人生が描かれている「著者紹介」。いつもとは違った本の読み方ができて、オススメですよ。



著者紹介がおもしろい本

書名	著者名	出版社
『となりのこども』	岩瀬成子／作	理論社
『憲法はむづかしくない』	池上彰／著	筑摩書房
『春のはじまる朝』	藤川洋子／著	東京書籍
『プレッシャーに負けない』	梅沢由香里／著	PHP研究所
『チュウガクセイのキモチ』	あさのあつこ／著	小学館
『かえるのピータン』	どいかや／作	ブロンズ新社
『サルくんとブタさん』	たどころみなみ/さく・え	汐文社

どんな職業に就けば
池上さんみたいな仕事
ができるのかなあ？

へ～！あさの先生
って…！すごい！

その他、理論社から出ている「よりみちパン！セ」のシリーズは著者紹介が多めに書いてあり、読み応えがあります。